

先進ITの活用により、
グローバル戦略を推進し、
「新たな価値の創造」に挑戦

常務執行役員 坂本 達也

JFE商事は、JFEグループの中核商社として、原材料調達から加工・流通までの一貫したサプライチェーンを担い、お客様の多様なニーズにお応えしています。また、事業を通じてお客様の信頼と期待にお応えすることにより、お客様と共に成長する、存在感のある企業を目指しています。この取り組みを進めるにあたり、「JFE商事ITビジョン」を定め、4つのテーマを核に活動を推進しています。先進ITの活用により営業活動や各種管理業務を効率的に支援する仕組みを構築し、社員が働きやすく、より戦略的で高度な業務に注力できる体制を整備していきます。



センサや画像処理等のIT技術は日々目覚ましい進歩を遂げています。

当社グループの鋼材加工センターでは、10年先のイメージも描きながら、先進IT技術の組み合わせにより大幅な生産性向上を実現しようという試み（スマートファクトリー化）に取り組んでいます。

単に新技術を利用するというのではなく、第三者の目線も取り入れてコイルセンターの現状や課題の分析を行い、課題解決のために新技術の活用を検討する、という手法です。現場の方々に新技術への興味・関心を持っていただくことを一番に考えています。

パイロット会社（JFE商事電磁鋼板名古屋工場）での検討では、在庫ヤードが狭く至近の増産予定に対していかに限られたヤードを有効活用するかという課題を解決するための3つ（下図①～③）のIT技術の有効性について確認を行いました。

今後は、各コイルセンターの特殊性等を考慮しながら、各社の課題に対して有効なIT技術の適用を検討してまいります。



JFE商事 ビジョン
トレードと事業の両輪による安定収益基盤の確立と収益拡大

営業戦略業務へのシフト

現場力の強化

グループシナジーの発揮

JFE商事 ITビジョン

成長を支える先進ITのテーマ

オフィスの生産性向上

RPAやAI活用による業務の自動化と高度化
(営業戦略に直結する業務にシフト)

コイルセンターの生産性向上

IoT技術でセンサデータの集約
(操業実態の見える化による諸改善)

IT関連のグループシナジー発揮

JFEホールディングス、JFEスチールとの連携強化
(SCM、セキュリティ基盤共用、共同調達等)

連結経営の効率化

標準システムの適用拡大・刷新
国内外コミュニケーション環境の充実

先進ITを支える基盤

情報セキュリティ強化

システムの安定稼働

IT人材の確保・育成



加工センターの支援マシンとして期待しています!!

JFE Voice!



加工センターに求められる機能は、鋼材をお客様の仕様に基づき加工し、その寸法・形状・外観を保証し、かつ仕様に合格した製品を納期どおりにお客様に届けることにあります。

お客様のご要求がますます厳しくなる中、人材育成、技能向上のみではコスト競争力強化が叶わなくなっている現状において、加工センターの最適化の最前線を支える強力な助っ人（マシン）として期待しています。

JFE商事電磁鋼板株式会社
左:名古屋工場長 藤澤 豊彦 中:管理グループ 出荷担当 國府田 真沙美
右:管理グループ 工程担当 近藤 裕嗣